

# 篠中だより 2月号



校訓『智』『想』『誇』

「自律」  
自分で考え、自分で判断し、行動できる

「尊重」  
違いを認め合い、相手の尊厳を守る

篠栗町立篠栗中学校	
校長	早川 昌吾
生徒数	630名
1年生	210名
2年生	191名
3年生	229名

## と き 1年のまとめの時期、どう過ごしますか？

3学期始業式、各学年代表が3学期の抱負について、力強くかつ温かいメッセージを述べてくれました。今回は、3年生生徒代表の「3年生として」と題したメッセージを紹介します。『受験は団体戦』または『仲間を大切にすることが自分を成長させることにつながる』という想いのこもったメッセージだったと思います。

[中略]人として成長する学期にしていきたいです。去年は、気の緩みが目立つ場面もありました。でも反省を活かして一日一日を大切に過ごしていきたいです。

[中略]最終的には、1・2年生のお手本となり恥ずかしくない姿で卒業することが目標です。そのためにも日頃の自分の行動を見直してみることが成長への大きな一歩だと私は思います。3年生には、自分の夢に向かって努力している人がたくさんいます。その努力を無駄にしない為にもお互い支え合って助け合えるような学年になりたいです。悩みや不安が絶えず心が安定しないときもあると思います。そんな時こそ一人で抱え込まず、友達や先生、家族を頼って自分らしい選択をしていきましょう。そして、悩んでいる人たちに寄り添えるような温かい心の持ち主に私はなりたいです。

[中略]今から卒業までの時間、3年生には大きな壁にぶつかるかもしれませんが、道徳で学んだ『神様は乗り越えられない壁は与えない』という言葉信じて全員で頑張っていきたいです。



## 名実ともに学校のリーダーが代替わりしました

9月の生徒会役員選挙、その後のリーダー研修会を経て、3年役員から2年新役員へと名実ともにバトンタッチされました。旧役員が築いてくれた『自律』と『尊重』そしてその先に在る『日本一温かい学校』をめざして実践してきた篠中生徒会。どの取組においても「仲間に手を差し伸べることができる人がHERO=(福笑いヒーロー)」を待ってるよ(期待してるよ)! という明確なメッセージのあるものでした。



旧生徒会役員退任式



この新たな良き伝統を継承しつつ、新生徒会役員を中心に『新しい視点』で『自分達らしい』生徒会を再構築して行ってほしいと思います。「前年踏襲(前に倣って変えないこと)」という落とし穴にはまらず、変化し続けることこそが、旧役員の想いに応えることになると確信します。新生徒会役員の皆さん、よろしくお願いします。そして、それを支えるのは、現1・2年生の皆さんであることは、言うまでもないことです。



新生徒会役員認証式

さあ!篠中reset(リセット)&restart(リスタート)です!

新生徒会役員を中心とした新体制での生徒会活動の手始めとして、次年度のスローガンや活動の柱、そして各委員会の取組について審議し、生徒全員で話し合う『生徒総会』に向けた取組が始まります。生徒一人ひとりが『誰一人として取り残さない』を前提に自分事として話し合いに参加し、新しい篠中、よりよくなる篠中にして行ってほしいと願っています。

3学期は、「まとめの学期」というのは当然ですが、次年度(令和8年度)、上級学校進学に向けての準備の時間であることも意識して諸活動に取り組んで行ってほしいと思います。

# 仲間との友情を深めた2年生修学旅行



2年生が1月21日（水）～1月23日（金）の2泊3日で京都に修学旅行に行ってきました。9月から長い時間をかけて取り組んできた集大成ともいえる3日間でした。リーダーを中心に篠中で大切にしている「誰一人取り残さない」を前提に、班編成に始まり各係の役割や取組を通してめざす姿など様々なことを話し合っただけで、当日を迎えました。

当日早朝、博多駅集合。参加者全員が遅れることなく見事に集合完了。学年主任の佐藤先生からも「これまで取り組んできたことの成果がここ（定時に集合完了）に表れています。もうすでに8割は成功しているといっても言い過ぎではありません。」と評価され、気持ちよくスタートしました。

1日目は、京都駅を起点に半日の班別自主研修。学習係を中心に各班でたてた行程計画に沿って京都の街を散策しました。途中忘れ物や不慣れた交通機関利用での問題発生に困った班もあったようですが、班員と力を合わせて何とか全員無事にホテルに到着。

2日目は、クラスごとにバスで二条城⇒宇治平等院⇒金閣寺⇒清水寺を巡り、バスの中でもゲームをしたりガイドさんの説明に聞き入ったりとほんわかした雰囲気でお名所を巡りました。

夜は、実行委員会～係会でその日の反省、集団としての課題を共有し、次の朝に班会議で班員にそれぞれから周知し実践するという、**集団として高め合う活動が充実**していました。その際、指示が通らず悩んだり、係の仕事をして忘れて迷惑をかけたりと、集団の中における自己の役割を果たすことの難しさと、仲間と協力できた時の喜びの両方を実感することができ、「**社会性を高める**」という面で**貴重な体験**ができたと思います。

この3日間で感じたことは、「仲間を大切にすること」は勿論ですが、旅行者、ホテル、カメラマンなど修学旅行に関わってくれた方々が、「**篠中生というこの集団に関わってよかった**」という視点を持つことで、一人ひとりの社会でよりよく生きていくという面で、大きく成長することができたということです。そして、この経験は今後の生活において、他者に対して**より広く、より深い『相手意識』を持つことができる**ことにつながると思います。



## 3年生諸君!!「自律心」を今こそ発揮する時です

3年生にとって、この1年の頑張りが試される時がきました。ここで忘れないでほしいことがあります。それは、「自分で決めたことに責任を持つ」ということです。

4月からの就職先や進学先で、「こんなはずじゃなかった・・・」と思う場面は必ずあります。その時に、「親がこうしなさいといったから」とか、「担任の先生が勧めたから」と、ならないようにしてほしいと思います。「自分で決めたことだから!」と、逃げずに自分に向き合う、ということです。それは、もう一人の自分で自分を見つめる力である心理学などという「**メタ認知能力**」を高めるということでもあります。

3年生のみなさん、受験という取組から、「生きる力」として大切な「もう一人の自分を心の中に育て、自分と向き合う力」を育ててください。

